



登米



10 We

広報とめ
トゥー・ミー

Oct 2022
Vol.329

[特集]
夏に挑む

[ときめき人]
柴田璃依さん
【今月の表紙】
仙台育英が表敬訪問
(関連記事3ページ)

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙



第104回全国高等学校野球選手権大会優勝
仙台育英学園高校 各2年

尾形樹人 Ogata Mikito

8月6～22日に開催された夏の甲子園、仙台育英学園高等学校は悲願の初優勝を成し遂げ、100年以上かなわなかつた優勝旗の白河の関越えを果たした。

尾形と高橋はともに追町出身。小学校の時に野球を始めてから、ずっと同じチームでバッテリーを組んできた。高校は憧れだった仙台育英に進み、甲子園を目指して掲げた。

捕手の尾形は、常に冷静な状況判断や打者の分析で、最適な配球を組み立てる。県予選から全ての試合に出場し、ベンチ入りしているさまざまなタイプの5人の投手をリードし勝利に導いた。一方の高橋は、最速145キロの力のあるストレートと安定したコントロールに定評がある投手。甲子園のマウンドでもその剛腕を遺憾なく発揮した。

高橋は初戦の鳥取商業(鳥取)戦で5回を投げ1安打無失点5奪三振、続く明秀日立(茨城)戦では3回を投げ2安打無失点の好投を見せた。しかし、準決勝の聖光学院(福島)戦を前に「いつものピッチングではない」とブルペンで感じた尾形は高橋を一喝。試合中もピンチの場面では高橋に駆け寄り声を掛けた。仲間

の援護をもらつた高橋も2回3安打1失点の力投で応えた。決勝の下関国際(山口)戦では、8回から「とにかく楽しむ」と心に決め、高橋はマウンドに立つた。無失点で抑え、念願の優勝を勝ち取ることがで

「次」の舞台に向け、練習を積み重ねていきたい」と話す。記録を更新し続けるため若きアスリートは今日も走り続ける。

高橋煌稀 Takahashi Koki

8月6～22日に開催された夏の甲子園、仙台育英学園高等学校は悲願の初優勝を成し遂げ、100年以上かなわなかつた優勝旗の白河の関越えを果たした。

尾形と高橋はともに追町出身。小学校の時に野球を始めてから、ずっと同じチームでバッテリーを組んできた。高校は憧れだった仙台育英に進み、甲子園を目指して掲げた。

捕手の尾形は、常に冷静な状況判断や打者の分析で、最適な配球を組み立てる。県予選から全ての試合に出場し、ベンチ入りしているさまざま

なタイプの5人の投手をリードし勝利に導いた。一方の高橋は、最速145キロの力のあるストレートと安定したコントロールに定評がある投手。甲子園のマウンドでもその剛腕を遺憾なく発揮した。

訪れた仙台育英の選手たち。「本大会ではたくさんのお応援のおかげで勝つことができた。新チームでも次の大会での優勝を目指したい」と意気込みを見せる。



千葉遼 Chiba Ryo

事優勝。続く県大会、「全国標準の記録を目指す」と目標を立てた千葉は、2828点を叩き出し、大会新記録で優勝。しかし、現状に満足することなく、東北大会までの限られ

全国中学校体育大会 第49回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子四種競技優勝 南方中3年

千葉は、小学6年の時、コンバインドA(80mハードル・走高跳)で全国大会に出席した。中学に進んでからは陸上部に入部し、四種競技に力を注いだ。四種競技では今までやってきたハードルと走高跳のほかに、砲丸投と400m走が加わる。未経験の種目への戸惑いもあったが、持ち前の運動神経でどんどん記録を伸ばしていくた。

しかし、中学2年になり、記録が伸び悩む。良い成績を出すにはどうしたら良いか試行錯誤の日々が続いた。練習に明け暮れていた時、宮城県の強化指定選手に選考された。専属のコーチが付き、走りのフォームやトレーニングなどの指導を受けた。週1～2回の練習だったが、千葉の調子は良くなり、記録も徐々に伸びていった。

迎えた市の中総体では、見事優勝。続く県大会、「全国標準の記録を目指す」と目標を立てた千葉は、2828点を叩き出し、大会新記録で優勝。しかし、現状に満足することなく、東北大会までの限られ

た大会でベストを尽くせるようになると感謝の思いを語り、「結果に満足せず、残された大会でベストを尽くせるよう練習にも全力で取り組んでいた。これまでの努力が報われて本当に良かった」と顧問の佐藤先生。「大きな舞台で自己ベストを更新でき、さらに優勝することができますが、うれしい。この結果は、家族、先生、コーチなどからの大きな支えがあったからこそ」と感謝の思いを語り、「結果に満足せず、残された大会でベストを尽くせるよう練習を続ける」と改めて気合いを入れ直した。

「練習の成果を発揮」

「どんな状況でも強気な姿勢を忘れない」県予選に臨む際にメンバー全員で決めたプレイスタイルだ。大会に向けて、四股やすり足など相撲において基本的な技術の向上に力を入れた。自分たちの力を信じ、部員全員が声を掛け合い、つらい練習を乗り越えた。迎えた県大会では、団体で優勝し東北・全国大会出場、総合個人で武山が全国大会出場、3年個人では武山、永谷、中澤が東北大会出場を決めた。「練習の成果が出て良かった。気を緩めず今後も練習していく」と永谷は気合いを入れ直した。続く東北大会では、個人に出場した3人は予選で敗れたが、団体は3位という結果を残した。全国大会では、団体、総合個人ともに勝ち進むことができなかつたが、「全国の大舞台に立つことができてうれしかった。この経験を東北選抜相撲大会に生かしたい」と武山は次の大会を見据えた。「どんなに苦しい状況でも、互いに声を掛け合い、自分たちの戦い方を最後まで貫き通せて良かった」と5人は振り返った。



全国中学校体育大会第52回全国中学校相撲選手権大会出場

豊里中男子相撲部

(写真後列左から、中澤英秋、齋藤勇希、前列左から、武山吏琥、永谷海翔、江田竜也 全員3年)

夏に挑む



第12回全国高等学校女子合同チームラグビー大会出場

木川海 (佐沼高1年)

父親に勧められ、小学生の時からラグビーを始めた木川は日々の練習にひたむきに励んだ。これまでの努力が実り、女子ラグビー東北選抜に選ばれた。自己分析を行い、練習し臨んだ全国大会は育成ブロック2位で幕を閉じた。「男子に負けないような選手を目指す」と今後の成長を誓った。



全国高等学校総合体育大会ボート女子ダブルスカル出場

左から、黒田恵真 (佐沼高3年)
大場日湖 (同2年)



全国高等学校総合体育大会陸上競技棒高跳選出場

浅野廉 (佐沼高3年)

高校からボートを始めた黒田・大場の2人。ひたすらに努力を積み重ね、「自分たちの実力を試したい」と臨んだ全国大会。結果は準決勝まで進むことができた。「周りの人たちの応援や支えがあったから頑張れた」と感謝の気持ちを忘れない。次の国体予選に向け、悔しさを糧に闘志を燃やす。

Zoom Up Tome 2022 Special

「昨年の思いを胸に」

9人の若きクルーが全国大会の舞台で奮闘した。昨年の全国大会で予選敗退。涙を流した先輩の思いを胸に、「今年こそ準決勝へ進みたい」と日々練習を重ねた。記録を少しでも伸ばすため、何度もタイムを計り、漕ぐタイミングやフォームを確認し、記録が伸び悩んでいるときには全員で励まし合い準備を怠らなかった。気合十分で迎えた全国大会では、男子シングルスカルで新井が準決勝進出。男子ダブルスカルでは千葉(健)・佐藤(櫻)が8位入賞を果たした。入賞した2人は、「幼なじみとペアを組み、結果を残すことができてとてもうれしい。先輩も行けなかった決勝の舞台に立つことができて幸せ」と笑顔で振り返った。その他の6人は惜しくも予選で敗れたが、「最後まで諦めずこぐことができた」と口をそろえた。

「仲間や家族、先生の多くの支えがあったからこそ頑張ることができた」と感謝の気持ちを忘れない9人は、ボート部で学んだ「努力することの大切さ」をそれぞれの進路に生かし続ける。



第42回全日本中学選手権競漕大会出場

佐沼中ボート部

(写真後列左から、伊藤歩夢、佐藤樹生、佐藤壱成、北浦小春、千葉莉鈴、前列左から小野寺来騎、千葉健心、佐藤椰沙、新井瞬 全員3年)

「心を一つに最後まで」



全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会

第38回全国高等学校カヌー選手権大会

登米高カヌー部

(写真左から、羽生多真美、伊藤美空、亀岡なご美、千葉美鈴 全員3年)

古文書をデジタルに 400年の歴史データで保存

「津島神社古文書調査」は8月18日、津島神社で行われ、調査を実施した宮城学院女子大学の学生や地元の高校生など約30人が参加しました。

古文書調査は、津島神社に所蔵されている古文書を整理、デジタル化し調査を行うのが目的。当日は、古文書を1枚1枚丁寧に広げながらカメラで撮影。参加者はロマン溢れる古文書の世界に触れる貴重な機会となりました。安倍結子さん(佐沼高3年)は、「何百年も前に書かれた資料を目にして驚きました。完全な姿のまま残すことは難しいので、正確な情報として後世に伝えるための大変な作業だと思います」と話しました。



調査には伊達武将隊の支倉常長も参加。すらすらと古文書を読み上げながら、学生たちに記載されている事柄を解説しました。

空を見上げてみよう 登米公民館で星空観察会

「星空観察会」(とよまコミュニティ運営協議会主催、佐藤貞一会長)は8月19日、登米公民館で開かれ、市内の小中学生とその家族11人が参加しました。

同観察会は年3回開催予定。1回目となる今回は、とよまサイエンスの船木實さんと清野和裕さんを講師に、太陽の黒点についての講話と観察体験を行いました。講話ではプラズマやオーロラなど太陽に関係する自然現象の説明に参加者は興味津々。金田唯さん、隼翔さん(7)=登米町峯畑=は、「先生のお話は少し難しかったけれど、望遠鏡を使って黒点を紙に描き写すのが楽しかったです」と笑顔で感想を話しました。



天体望遠鏡を通して記録用紙に投影した太陽には、はっきりと映し出された黒点を見ることができました。

一人一人丁寧に指導 3年ぶりに絵画教室開催

「おとなの幾何学絵画教室」は8月27、28の両日、中田生涯学習センターで開かれ、12人が参加しました。

今回のテーマは「直線と構成」。中田町出身でフランス・パリ在住の世界的造形作家、佐藤達氏が講師となり、「線にもいろいろある。長い短い、太い細い。その組み合わせが多様な構成の作品となる」など基本的な考え方を説明。参加者は思い思いに趣向を凝らした作品を制作しました。千田恵里子さん(63)=栗原市築館=は「デッサンは線にシャープさが出るよう工夫しました。鉛筆を使い分けながら芯の硬さや濃度を生かすように色を塗るのが楽しいですね」と笑顔で話しました。



佐藤氏が参加者の作品に定規を当て線を引いたり、筆使いの手本を見せたりしながら、芸術に触れる楽しさを伝えました。

木に触れ使って学ぶ 簡単楽しい親子木工教室

「魔法の材料『組手什』で棚を作ろう」は8月7日、迫公民館で開かれ、16組36人の親子が参加しました。

参加者は、講師の竹中雅治さん(登米町森林組合参事)から、間伐材を用いた組立家具である組手什についての話や、組み立て方の説明を受けた後、実際に棚を制作。青山ひなさん(8)=迫町光ヶ丘東=は、「くぎを使わないでパズルみたい。うまく組み立てることができうれしかった」と話しました。講師の竹中さんは参加者に向けて、「組手什を通じて、身近にある木や森林に興味を持ち、木を使うことが健全な森づくりにつながっていることを知ってほしい」と語りました。



講師から組手什の組み立て方のこつを教わりながら、親子で協力して2基の棚を作りました。

爽やかな歌声が響く ドリキがチャチャで公演

「劇団ドリーム☆キッズミニミュージカル」は8月11日、チャチャワールドいしこで開かれ、20人の団員が9月の公演を前に「ゴースト★マイフレンズ！～星祭りの夜に～」から選出した5曲の歌とダンスを披露しました。

照りつける日差しの中、団員の爽やかな歌声が園内を包み込むと、来場者たちは足を止め、大きな拍手を送っていました。団員の小野寺龍神さん(18)=迫町上舟丁=は「夏空の下、全員が楽しんで演じることができました。9月の公演が私にとって最後の活動になるので、全力を出し切りたいです」と力強く話しました。



感染症対策のためマスク着用での公演でしたが、マスク越しでも伝わる表情と演技で観客を魅了しました。

戦後77年、平和を願う 祝祭劇場で戦没者追悼式

「登米市戦没者追悼式」は8月18日、登米祝祭劇場で開かれ、献花に訪れた遺族や関係者など約200人が戦没者に哀悼の意をささげました。

献花は、昨年に引き続き感染症対策として時間と間隔を空けて実施。会場を訪れた皆さんは、献花台に白菊の花を手向けて深々と頭を下げ、手を合わせました。参列した佐藤裕之さん(83)=東和町米川6区=は、「現在も世界で起きている争いのことを思い、平和の大切さを改めて強く感じます。私の父は25歳の若さで亡くなりました。多くの犠牲を無にしないため、戦争と平和を伝え継ぐ式典に参加し祈り続けたい」と話しました。



白菊を献花台に供え手を合わせる参列者の皆さんは、戦没者に思いをはせ、世界の恒久平和を祈りました。



Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

西條 夏輝さん

さいじょう・なつき 横山小6年
津山町・横山7区

人を幸せにするプランナーに

人の幸せに直接携わることができる職業の一つに、ウェディングプランナーがあり、それは私の将来の夢でもあります。

私は、SNSでこの仕事について紹介している人を見たことをきっかけに、興味を持ち始めました。笑顔や気遣い、気配りを大事にし、新郎新婦だけでなく式場に来た全ての人たちを笑顔にできるところに魅力を感じ、人の幸せに関わる仕事に就きたいと思うようになりました。この仕事に就くためには、資格を取ったり専門学校に行ったりする必要があり、仕事に就いてからは打ち合わせから事前準備までに多くの事務作業があります。大変なことがたくさんあるけれど、自分たちが努力するだけ主役が輝き、素敵な瞬間を見せることができるようになる仕事だと思います。この夢をかなえるためにできることを少しづつ乗り越え、たくさんの人を幸せにできる笑顔あふれる素敵なお人になりたいと思います。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



佐藤 蓮くん(1歳)

2021年4月2日生まれ
米山町・追土地
卓弥さんの次男

お家でおみこして兄
弟仲良くいっぱい遊んでね。



亀井 蒼太くん(2歳)

2020年7月9日生まれ
中田町・茶畑
英樹さんの長男

毎日元気いっぱいいで、笑顔がかわいいそうちゃん。これからも元気にすくすく育ってね。大好き。

柴崎 開志くん(3歳)

2019年5月14日生まれ
南方町・南大畑
竜太郎さんの次男

いつもやんちゃで甘えっ子なかいちゃん。重機類が大好きで将来の夢は、じいじと一緒に米を作ること。



渡辺 愛咲ちゃん(3歳)

2019年6月7日生まれ
石越町・駅前
仁さんの次女

お茶目でかわいいお姉さん。ご飯をもりもり食べて大きくなろうね。生まれて来てくれて、ありがとうございます。



佐々木 成士さん(94)
富士子さん(88)

11月入籍 1953年(昭和28年)

一日一日大事に、今まで通りで

★出会ったきっかけは

【成人】隣の家が妻の母の実家で、夏休みやお正月になるとよく一緒に遊んでいたんだ。幼なじみみたいな感じだったね。

★印象に残っている思い出は

【富士子】娘と3人で京都や滋賀へ旅行に行ったことかな。大津陸軍少年飛行兵学校跡地に行って、卒業生だった夫の名前が刻まれた記念碑と一緒に見たことが印象に残っているよ。

★お互いの性格は

【成人】歌うのが好きで、元気でいい性格だよ。おてんば娘だったね。

【富士子】なんでも知っていて、しっかり者で頼りがいのある人だよ。

★夫婦円満のコツは

【二人】不満はため込みず、話合うことかな。これからは体を大切に、一日一日大事に今まで通り生活していきたいね。



Young

まちの若い衆

Monthly Hot Communication

及川 悠斗さん(19)

おいかわ・ゆうと 東和町・米川4区

★身長と血液型 171cmでA型です。

★現在は 米山町にある浅野工務店に勤めていて、建築・工事などの施工管理を担当しています。入社した時は、工事現場の雰囲気や仕事に慣れず戸惑うこともありましたが、上司が優しく丁寧に教えてくれて仕事を覚えることができています。今は知識や技術の取得に力を入れています。学生時代に得られなかった経験や知識を身に付け、現場でのコミュニケーションや連携力を高めていきたいです。

★自分の性格 一途な性格で一度決めたら最後までやり遂げます。友人からよく優しいと言われます。

★趣味は ツーリングをしたり、プラモデルを作ったりすることです。

★好きなタイプ 優しくて思いやりのある面倒見がいい人がタイプです。話していて面白い人がいいですね。

★今やってみたいこと 大型重機、大型バイクの免許を取りたいです。

★登米市について一言 コロナ渦で、今まで開かれていた各種イベントの自粛などが続いているが、地域の活性化のために市民が交流できるイベントを徐々に増やしてほしいです。

聴覚障害者支援 みみサポサロンを開催

聴覚障害がある人やその家族、関係者などどなたでも参加できる「みみサポサロン」を開催します。手話や筆談など、安心できるコミュニケーション手段で対応します。

気軽に参加ください。

【日時】10月4日(火)午前10時～正午

【場所】市役所南方庁舎(2階大会議室)

【内容】理学療法士による講話「呼吸、意識しますか？教えて！呼吸で健康」▼さいころトーク交流サロン

※申し込みは不要です

※盲ろう通訳を希望する場合は事前に連絡してください

【問い合わせ】県聴覚障害者情報センター(みみサポみやぎ)

TEL 022(393)5501
FAX 022(393)5502

よつ葉マーケットを開催します

中央障害者地域活動支援センター(よつ葉ハウス)では、毎月1回、自主作品の販売会を開いています。ぜひご来場ください。

【日時】10月28日(金)、11月28日10月25日(火)～11月30分②午前11時③午後1時30分④午後3時

【場所】県東部保健福祉事務所登米地域事務所

※職業のあつせんではありませんのでご注意ください

【申し込み・問い合わせ】福祉祉係

TEL 0220(58)5552
FAX 0220(58)2375

**障がい者の自立に向けて
しげ」と相談を開設**

専門知識を持つ支援員に相

**生活や仕事などの
悩み相談に応じます**

電話による通訳を希望する場合

【問い合わせ】県聴覚障害者情報センター(みみサポみやぎ)

TEL 022(393)5501
FAX 022(393)5502

**市県民税・・・3期
国民健康保険税・・・5期
介護保険料・・・5期
後期高齢者保険料・・・4期**

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で
納期限／10月31日(月)

登米市の人口・世帯数

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,669	9,551	10,038	19,589 (▲33)
登米	1,744	2,159	2,319	4,478 (▲3)
東和	2,243	2,811	2,873	5,684 (▲5)
中田	5,279	7,496	7,735	15,231 (▲18)
豊里	2,117	3,059	3,119	6,178 (▲16)
米山	2,822	4,194	4,279	8,473 (▲7)
石越	1,525	2,220	2,212	4,432 (▲16)
南方	2,726	3,994	4,169	8,163 (▲23)
津山	1,122	1,416	1,555	2,971 (▲5)
合計	27,247	36,900	38,299	75,199 (▲126)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています

市内の交通事故発生状況

(令和4年8月末現在)※佐沼・登米警察署調べ

	R4	R3	増減数
人身事故発生件数	72件	59件	13件
死者数	1人	1人	0人
負傷者数	84人	63人	21人
物損事故発生件数	803件	902件	▲99件

※R4年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

【9月21日から秋の交通安全運動】これからは時期は日没が早まり、夜間の交通事故が多発します。夜間外出の際は反射材を身につけるなど、注意しましょう。

8月の災害件数

火災 救急 救助
1件 340件 3件
令和4年累計 (28件) (2,398件) (35件)

前年同月 3件 322件 2件

※台風や大雨などの自然災害では、「警報」などの防災気象情報を活用し、早め早めの防災行動をとるようにしましょう。

女性の相談窓口
女性の相談窓口「ウイメンズアイ」ホームページ



女性の相談窓口「ウイメンズアイ」ホームページ

会員登録
お問い合わせ
宮城県行政書士会
ハローワークはさま発行求人情報
ハローワークはさまで発行している求人情報を掲載
掲載日は祝日を除く毎週火曜日の午後3時です

**市県民税・・・3期
国民健康保険税・・・5期
介護保険料・・・5期
後期高齢者保険料・・・4期**

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限／10月31日(月)

登米市

登米市中央障害者地域活動支援センター

宝江ふれあいセンター

中津山公民館

東郷公民館

森公民館

登米市東部保健福祉事務所

登米地域事務所

豊里

豊里保健福祉事務所

豊里公民館

豊里公民館

豊里公民館

豊里保健福祉事務所

豊里保健福祉事務所

豊里保健福祉事務所

中田

中田保健福祉事務所

中田公民館

中田公民館

中田公民館

中田保健福祉事務所

中田保健福祉事務所

中田保健福祉事務所

東和

東和保健福祉事務所

東和公民館

東和公民館

東和公民館

東和保健福祉事務所

東和保健福祉事務所

東和保健福祉事務所

石越

石越保健福祉事務所

石越公民館

石越公民館

石越公民館

石越保健福祉事務所

石越保健福祉事務所

石越保健福祉事務所

南

南保健福祉事務所

南公民館

南公民館

南公民館

南保健福祉事務所

南保健福祉事務所

南保健福祉事務所

津山

津山保健福祉事務所

津山公民館

津山公民館

津山公民館

津山保健福祉事務所

津山保健福祉事務所

津山保健福祉事務所

米山

米山保健福祉事務所

米山公民館

米山公民館

米山公民館

米山保健福祉事務所

米山保健福祉事務所

米山保健福祉事務所

登米

登米保健福祉事務所

登米公民館

登米公民館

登米公民館

登米保健福祉事務所

登米保健福祉事務所

登米保健福祉事務所

迫

迫保健福祉事務所

迫公民館

迫公民館

迫公民館

迫保健福祉事務所

迫保健福祉事務所

迫保健福祉事務所

大

大保健福祉事務所

大公民館

大公民館

大公民館

大保健福祉事務所

大保健福祉事務所

大保健福祉事務所

北

北保健福祉事務所

北公民館

北公民館

北公民館

北保健福祉事務所

北保健福祉事務所

北保健福祉事務所

新

新保健福祉事務所



ときめき人

Tokimeki bito



心をほぐし 笑顔を引き出す 医療・介護×美容

迫町・舟橋

柴田 璃依さん

しばた りえ
1973年生まれ

血液型／A型

Profile

豊里町出身。夫と娘、息子+愛犬の5人家族。感謝の心を忘れずいつもポジティブ。心と体が元気になるアットホームな自宅サロンを営みながら、介護美容などの研鑽と普及啓発に日々力を注ぐ。



高齢者向けの施術や講座も行います。
エステティックサロン
「BIRTHDAY・EVE」
ホームページ

がん治療の過程で生じた外見の変化に対して、医療用ウィッグの相談、ハンドケアやメイクレッスンなどを行い、患者の体と心の支援をする「アピアランスケア」。柴田さんは、エステティシャンとしてサロンを経営する傍ら、3年前から石巻日赤病院ブレストセンターで全国でも珍しい美容部門スタッフとして、アピアランスケアを行っている。

高齢者施設でのメイク講座やハンドセラピーなど、「介護美容」にも積極的に取り組んでいた柴田さんは、ある時、友人のがん闘病に直面した。このことをきっかけに、「病気で苦しみ、悩む人たちを少しでも手助けしたい」という強い思いが芽生え、「メディカルビューティエイド(医療機関認定エステティシャン)」として新たな領域に飛び込んだ。

の常長さんは歴史講座を主催しています。興味のある人は参加してはいかがでしょうか。(佐々木)
▼10月から登米市もスマホ納税ができるようになります。みやぎキヤッショレス推進ボイント還元やマイナポイントなど、キヤッショレス決済でのお得なサービスも続々登場しています。かくゆう私もいまだに現金派。この機会に時代の波に乗ってみようと思います。(渡邊)

院内では、マッサージや美容アドバイスなどを行う。センターへ来るのが困難な人のため病棟でケアすることも多い。「最初は、患者さんに向き合うことへの不安で気持ちが落ち込むこともありましたが、周りの人たちからの支えと、施術後の皆さんの笑顔に私のほうが元気をもらっています」

「この仕事は、まだあまり認知されていないのが現状です。これから世代の子どもたちに、介護や医療と連携した美容の介入の場があること、この仕事の必要性を知つてもらうきっかけになれば」と、市内中学校のキャリアセミナーに出向く柴田さん。秋からは、通信制高校で美容講師も務める。

「広報に載ることも私の使命。多くの人に伝えたい」その目は、志に満ちあふれている。

編集後記

▼全国で活躍した選手たちを取材。仙台育英学園の2人と話し、インタビューの回答一つ一つが本当に心に響きました。絶え間ない努力があつたからこそ結果。全国で得た経験は、さまざまな場面で生かすことができると思います。登米市のアスリートのさらなる活躍を願っています。(白石)

▼古文書調査の現場に伺いました。400年の月日は丈夫な和紙を想像以上にもろくさせていることに驚きました。武将隊と共に、過去の出来事を未だへつないでいく大切な作業だと感じました。武将隊の常長さんは歴史講座を主催しています。興味のある人は参加してはいかがでしょうか。(佐々木)
▼10月から登米市もスマホ納税ができるようになります。みやぎキヤッショレス推進ボイント還元やマイナポイントなど、キヤッショレス決済でのお得なサービスも続々登場しています。かくゆう私もいまだに現金派。この機会に時代の波に乗ってみようと思います。(渡邊)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。)https://www.city.tome.mi.ya.jp/



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)https://mail.cous.jp/tomecity/